

中学1年生が「高志学」外部講師リレー講座④を行いました

令和6年1月18日（木）に、1年生が本校若葉食堂で外部講師リレー講座④を行いました。

福井コンピュータホールディングス株式会社の橋本彰先生、富田晃成先生と福井県民生活協同組合の小林文先生、高屋夏未先生をお招きしてご講演いただきました。

福井コンピュータの講座では、サステナビリティの中でも「自然災害に対してどのように持続可能な対応をしていくか」についての取り組みが紹介されました。実際に現場に行かなくても3Dモデルで現場の状況が細かく分かるソフトウェアを開発し被害状況を確認する例が示されると、生徒は自然災害が多発している現状を考え真剣にノートにまとめていました。

県民生協の講座では、安全・安心な暮らしづくりのための活動が紹介されました。コープの宅配やハーツの店舗を身近に感じている生徒がいる一方で、介護事業も展開していることを知りました。ここでも、持続可能な社会づくりのための取り組みを行っていることを聞き、「エシカル消費」について学びました。



[生徒の感想]

- ・コンピュータで持続可能な社会を実現する、というのはイメージがわからなかったけれど、自然災害を防いだり被害状況を確認できたりするアプリがあると知り驚きました。危険な現場に行かずにデータ化できるのはすごいことだと思いました。
- ・「サステナビリティ」の意味がよく分かりました。アプリやサイトにはあまり「完成」というものがなく、法律に合わせたり、社会状況に合わせたりしてバージョンを変え続ける必要があることが納得できました。
- ・コープの宅配やハーツという店は、普通のスーパーと何が違うのかが分かりませんでした。今日、その意味が分かりました。また、介護は高齢者の生活を手伝えるものだと思っていましたが、「自立支援」しできなかったことをできるようにする喜びがあることが分かり、介護という職業に興味をわきました。